

R5年度 学校評価アンケートについて

- ①回収率について ……児童・生徒87% 保護者57% 教職員66%
- ②自由記述欄について…児童・生徒19% 保護者10% 教職員6% 記述あり
- *昨年度に比べ回収率は全体的に5～10%程度下がった。

【教職員】

分析1

- ①【A,とてもそう思う B,そう思う 合わせて**80%以上の項目が16項目あり**】

これら項目はB,そう思う のパーセンテージが高い **(昨年度は14項目)** ()内は昨年度比

- | |
|--|
| 1 いじめのない、人権に配慮した学校である (84%) |
| 2 体験活動が、充実し、楽しい学校生活となっている (90%) |
| 3 子ども同士望ましい人間関係を築けている (91%) |
| 4 道徳心が養われている (84%) |
| 5 防災安全教育、防災対策など、幼児児童生徒の安全に対する取り組みが充実している (87%) |
| 8 基本的な生活習慣を確立するために家庭と連携がとれている (87%) |
| 9 幼児・児童・生徒の実態を正確に把握し、適切に個別の指導計画が作られている (87%) |
| 10 教師は、研究・研修に熱心である (84%) |
| 11 学力向上に向け、授業改善などの取り組みがなされている (81%) |
| 13 個々の教育的ニーズに応じた学習が取り入れられている (96%) |
| 14 個々のコミュニケーションに合わせたわかりやすい授業になっている (87%) |
| 15 市内の学校に対するセンター的機能(通級を含む)、広報や学習会などが充実している (96%) |
| 16 学校間交流、居住地校交流が効果的に行われている (81%) |
| 17 各種お便りやHPなどで、保護者に適切に情報が発信されている (96%) |
| 19 地域や関係機関との連携が適切に図られている (84%) |
| 23 ギガ端末の導入など、ICT環境の充実により良い教育的効果が見られる (93%) |

- ②【A,とてもそう思う のパーセンテージが高い項目】

- | |
|--|
| 6 食育教育が、充実している (40%) |
| 13 個々の教育的ニーズに応じた学習が取り入れられている (34%) |
| 15 市内の学校に対するセンター的機能(通級を含む)、広報や学習会などが充実している (32%) |
| 16 学校間交流、居住地校交流が効果的に行われている (34%) |

分析2

- ①【A,とてもそう思う B,そう思う 合わせて**60%以下の項目はなし**】

※一番低かった項目は 18 学校教育推進会議など外部からの意見が学校現場に活かされている (78%)

★自由記述については、

- ・コミュニケーション手段、(手話メインの子どもや大人に対する情報保障
- ・皆でコミュニケーションができる聾学校へ
- ・より効果的な引継ぎをしていきましょう。

【保護者】

分析1

- ①【A,とてもそう思う B,そう思う 合わせて**80%以上の項目が16項目あり**】（昨年度は**13項目**）
教職員のアンケートに比べ A,とてもそう思う のパーセンテージが高い

- 2 体験活動が、充実し、楽しい学校生活となっている (95,2%)
- 3 子ども同士、望ましい人間関係が築けている (95,2%)
- 4 **道徳心が養われている** (90%)
- 5 防災教育や安全対策など、幼児児童生徒の安全に対する取り組みが充実している (95%)
- 6 **食育教育が、充実している** (86%)
- 7 **授業、休み時間、部活動を通して、運動する時間が充実している** (90%)
- 8 基本的な生活習慣を確立するために家庭と連携がとれている (90%)
- 9 幼児・児童・生徒の実態を正確に把握し、適切に個別の指導計画が作成されている (100%)
- 10 先生は、より良い授業を行うために、創意工夫している (100%)
- 13 個々の教育的ニーズに応じた学習が取り入れられている (90%)
- 14 個々のコミュニケーション手段に合わせたわかりやすい授業になっている (80%)
- 15 通級指導教室や乳幼児相談（ひよこ組）という教室が聾学校にあることを知っている (100%)
- 18 授業参観やオープンスクールなど、学校の教育活動が十分に公開されている (78%)
- 19 各種お便りや HP など、保護者に適切に情報が発信されている (86%)
- 20 学校は保護者の意見や要望などをよく聞き、適切に対応している (86%)
- 21 お子様の進学や進路について、必要な情報提供や相談がなされている (86%)

- ②【A,とてもそう思う のパーセンテージが高い項目】（**いずれも40%以上**）

- 1 いじめのない、人権に配慮した学校である (41%)
- 2 体験活動が、充実し、楽しい学校生活となっている (61%)
- 5 防災教育や安全対策など、幼児児童生徒の安全に対する取り組みが充実している (54%)
- 7 **授業、休み時間、部活動を通して、運動する時間が充実している** (46%)
- 8 基本的な生活習慣を確立するために家庭と連携がとれている (59%)
- 9 幼児・児童・生徒の実態を正確に把握し、適切に個別の指導計画が作成されている (54%)
- 10 先生は、より良い授業を行うため、創意工夫をしている (59%)
- 11 学校の授業や指導により、我が子の学力が向上している (50%)
- 14 個々のコミュニケーション手段に合せたわかりやすい授業になっている (54%)
- 15 通級指導教室や乳幼児相談（ひよこ組）という教室が聾学校にあることを知っている (59%)
- 17 いろいろな人が学校を見学することは良いことだ (54%)
- 18 授業参観やオープンスクールなど、学校の教育活動が十分に公開されている (45%)
- 19 各種お便りや HP など、保護者に適切に情報が発信されている (41%)
- 20 学校は保護者の意見や要望などをよく聞き、適切に対応している (51%)

分析2

自由記述について

- ・聾学校の在籍者だけではなく、乳幼児相談や学校外での聴覚障害児の支援など、先生方のご負担も多くあるかと思えます。その中で、毎日手厚い教育を提供していただき感謝しています。
- ・猛暑の期間中、ジャージもしくは体操服での登校を検討して欲しい。洗濯もできるので制服より衛生的。地域の学校の多くは体操服登校しています。
- ・タブレット端末は学習に直接関係ないコンテンツは、学校外ではアクセスを制限して欲しいです。
- ・先生が途中で変更や長期休暇、退職することが少し多いと感じます。先生同士の連携不足とか何かあったのかと詮索してしまいます。子ども達がいつ版辛い。先生の働きやすい職場であればよいと思います。
- ・校長先生が素晴らしいお考えなので、長く続けていただきたいです。

【児童・生徒】

分析1

A,とてもそう思う のパーセンテージが教職員・保護者アンケートよりかなり高い

A,とてもそう思う B,そう思う 合わせて**ほぼすべての項目が80%以上**

①【A,とてもそう思う のパーセンテージが特に高い項目】

- 2 学校行事がたくさんあって、楽しい学校である (64%)
- 4 幼小中高交流会など、全校での活動が楽しく行われている (73%)
- 6 給食は、おいしくて楽しい (70%)
- 7 体育や休み時間、部活動で運動することが楽しい (63,4%)
- 10 自分にとって勉強することは大事だと思う (71,4%)
- 17 iPad を使うようになって、授業が分かりやすくなった (57.4%)

分析2

①【A,とてもそう思う B,そう思う 合わせて**70%以下は1項目のみ**】

- 8 基本的な生活習慣（早寝、早起き、朝ごはんなど）が身についている (63,5%)

②【A,とてもそう思う B,そう思う で昨年度と比べて**特に伸び率が高かった項目**】

- 15 いろいろな学校との交流（学校間交流や居住地校交流）は楽しい（楽しいと思う）
(R3 56% → R4 88% → R5 93%)
- 16 いろいろな人が学校を見学に来ることは良いことだ
(R3 75% → R4 96% → R5 95%)

★自由記述について

- ・昼休み、どういう遊びをするか。自分で決めたい
- ・クリスマス会や七夕の会をやりたい
- ・国語の勉強を頑張りたい。
- ・分教室ともめた時、解決してくれてありがたい。
- ・わかりやすい授業があればあるし、ない時もある
- ・部活に集中したい時もあるので、少し分けて欲しい。
- ・美術に詳しい先生がいれば、やりやすい

●教職員と保護者の評価比較（数値の差）

2 体験活動が、充実し、楽しい学校生活となっている

R3（教職員 A・B 評価 86%）（保護者 A・B 評価 87%）

R4（教職員 A・B 評価 91%）（保護者 A・B 評価 82%）

R5（教職員 A・B 評価 93%）（保護者 A・B 評価 95%）

3 子ども同士、望ましい人間関係が築けている

R3（教職員 A・B 評価 87%）（保護者 A・B 評価 94%）

R4（教職員 A・B 評価 72%）（保護者 A・B 評価 82%）

R5（教職員 A・B 評価 93%）（保護者 A・B 評価 95%）

11 学力向上に向け、授業改善などの取り組みがなされている

R3（教職員 A・B 評価 76%）（保護者 A・B 評価 74%）

R4（教職員 A・B 評価 86%）（保護者 A・B 評価 75%）

R5（教職員 A・B 評価 93%）（保護者 A・B 評価 76%）

12 学部間の連携が図られ、幼児・児童・生徒に良い効果がみられる

R3（教職員 A・B 評価 55%）（保護者 A・B 評価 76%）

R4（教職員 A・B 評価 68%）（保護者 A・B 評価 78%）

R5（教職員 A・B 評価 75%）（保護者 A・B 評価 67%）

16 学校間交流・居住地校交流が効果的に行われている

R3（教職員 A・B 評価 63%）（保護者 A・B 評価 45%）

R4（教職員 A・B 評価 71%）（保護者 A・B 評価 54%）

R5（教職員 A・B 評価 84%）（保護者 A・B 評価 76%）

19 地域や聴覚障害者団体、関係機関との連携が適切に図られている

R3（教職員 A・B 評価 66%）（保護者 A・B 評価 45%）

R4（教職員 A・B 評価 68%）（保護者 A・B 評価 47%）

R5（教職員 A・B 評価 84%）（保護者 A・B 評価 86%）

23GIGA 端末の導入など、ICT 環境の充実により良い教育的効果が見られる

R3（教職員 A・B 評価 83%）（保護者 A・B 評価 62%）

R4（教職員 A・B 評価 80%）（保護者 A・B 評価 57%）

R5（教職員 A・B 評価 93%）（保護者 A・B 評価 57%）

22 地域や聴覚障害者団体、関係機関との連携が適切に図られている（保護者）57%

24 お子様の進学や進路について、必要な情報提供や相談がなされている（保護者）

R3（保護者 A・B 評価 73%）

R4（保護者 A・B 評価 75%）

R5（保護者 A・B 評価 85%）

* 17, 19, 22, 23 は保護者の評価ではいずれも E,よくわからない という割合が高くなっている。

見学 交流 地域関係機関 GIGA